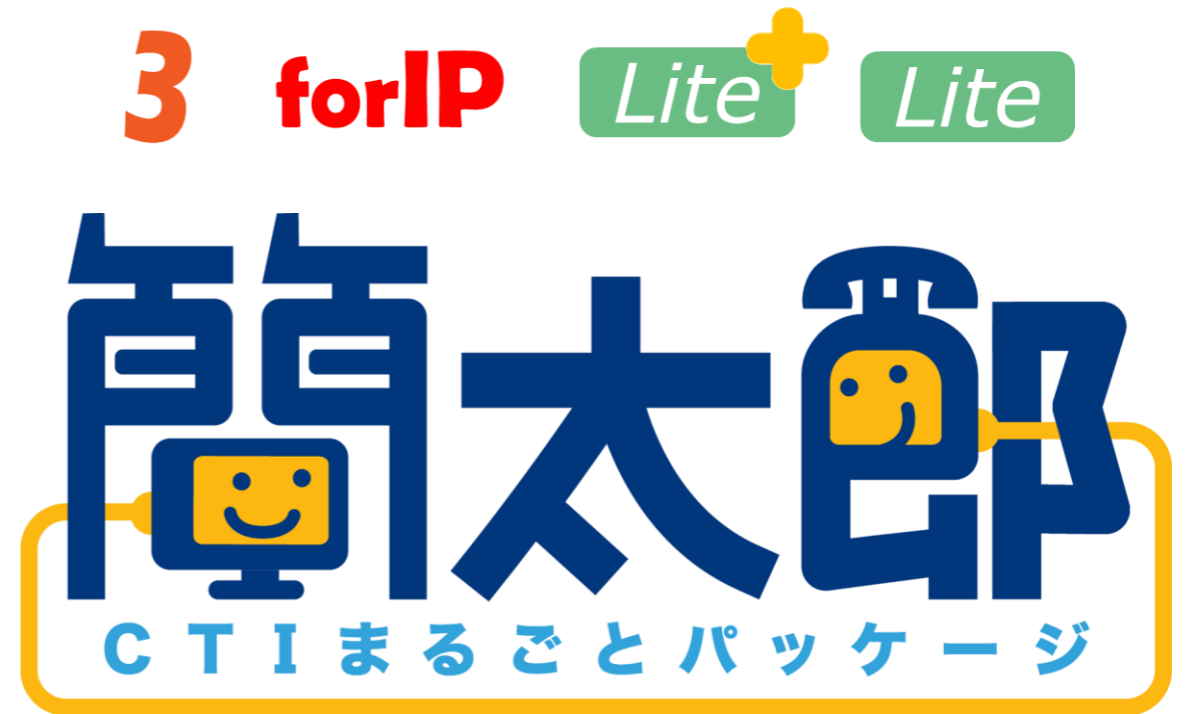


主要機能		簡太郎 3	簡太郎 forIP	簡太郎 Lite+	簡太郎 Lite
複数回線での運用		●	●	●	—
対応回線	光回線	—	●	●	●
	INS1500回線	●	—	—	—
	INS64 (ISDN)回線	●	—	—	●
	アナログ回線	●	—	●	●
ネットワーク (LAN) 対応	サーバークライアント構成で利用できます		●	●	—
複数PC (Windows) での運用	LANに接続された複数PCで使用できます		●	●	—
交換機/PBXの併用	既存のデジタル・アナログ交換機・PBXを変更する必要はありません		●	○	○
クライアントモニター	電話の着信時に画面に発信者の情報を表示します		●	●	—
着信ブラウザ			—	—	●
自動音声応答 (IVR機能)	着信時に自動で音声応答し、発信者へガイダンスを流します		●	—	—
自動通話録音	発着信全ての通話を自動で録音します		●	●	—
留守番録音	休日や営業時間外の電話を全て録音して簡単に再生できます		●	—	—
音声アナウンス	全チャンネル、または指定のチャンネルにメッセージなどを流すことができます		●	—	—
着信拒否	特定の電話番号からの着信を拒否します		●	●	—
ログ記録・閲覧	電話のログ情報を記録します		●	●	●
かんたん顧客管理	標準添付の顧客管理アプリケーションです		●	●	●
代表番号登録	複数の電話番号を一つお客様情報に結び付けられます		●	●	●
ユーザー独自のアプリケーション 及び業務データベースと連動	外部プログラム起動	CTI情報を起動プログラムのパラメーターとして流すことができます	●	●	●
	イントラネット連動	CTI情報を設定されたURLに埋め込み、ブラウザに渡すことができます	●	●	●
	インターフェイス ファイル連動	CTI情報をテキストファイルとして記録することができます	●	●	●
	クリップボード連動	電話番号をクリップボードにコピーできます	●	●	●
	外部データベース指定	ODBCに対応したあらゆるデータベースをCTI用の顧客データベースとして指定できます	●	●	●

	簡太郎 3		簡太郎forIP		簡太郎Lite+	簡太郎Lite
利用形態	サーバー	クライアント	サーバー	クライアント	サーバー・クライアント	スタンドアロン
メモリ	1 GB以上 使用されるOS・環境により多くのメモリ機器が必要です		2 GB以上	1 GB以上	1 GB以上 OSの必要最低条件を満たしていることが条件	
HDD 空き容量	30GB以上 利用状況により必要容量は増加します	500MB以上	300GB以上	10GB以上	300MB以上	
OS	Windows Server 2019 Windows Server 2016 Windows Server 2012R	Windows 11 Windows 10	Windows Server 2019 Windows Server 2016 Windows Server 2012R	Windows 11 Windows 10		
連動可能 DB	ODBC 接続可能なデータベース (ex.SQLServer/Access.Oracle.DB2 など)					
必要機器	環境により必要な機器が異なります。詳細はお問合せください。					対応ターミナルアダプタ (INS64の場合のみ)

※Windows Server 2008R2での稼働も可能です。クライアント数によりWindws Serverとライセンスが必要となる場合があります。



簡太郎シリーズ ご紹介資料

製品ラインナップと機能

お問合せ・ご用命は…

DK 第一電子株式会社 0120-743-506

〒651-2103 神戸市西区伊川谷町有瀬301番地

www.cti-kantaro.com



9:00～17:00
(土日祝祭日および弊社休業日を除く)

- 「簡太郎」は第一電子株式会社の登録商標です。
- 改良のため予告なく内容を変更する場合があります。
- 内容は2022年1月現在のものです。

DK 第一電子株式会社

簡太郎 for IP

CTIまるごとパッケージ

光回線に対応した
多機能バージョン

対応接続回線：光（最大1回線 [4～60CH]）

簡太郎3では対応できていなかった光回線に対応しています。対応できる回線が増えたことで、より幅広くさまざまなお客様にご利用いただけるようになりました。簡太郎3とほぼ同じ機能を搭載しているので、簡太郎forIPへ切り替えただけでも今までと同じ様にご利用いただけます。

簡太郎forIP 簡太郎3 共通機能

1. 発信・着信情報表示
2. 発信・着信履歴（ログ）閲覧
3. 自動通話録音機能
4. 通話モニタリング機能

簡太郎3 だけの機能

1. 音声応答機能
2. 留守番録音機能
3. 音声応答スケジュール機能
4. IVRフロー対応機能（オプション）

アナウンス設定で音声応答パターンを作成し、スケジュール作成で動作させる日時を設定します。

またオプション機能では電話着信時に押しボタン操作により、電話接続先（内線）を指定させたり、特定の音声を流したりといった音声応答フローを作成し動作させることが可能です。

簡太郎3

CTIまるごとパッケージ

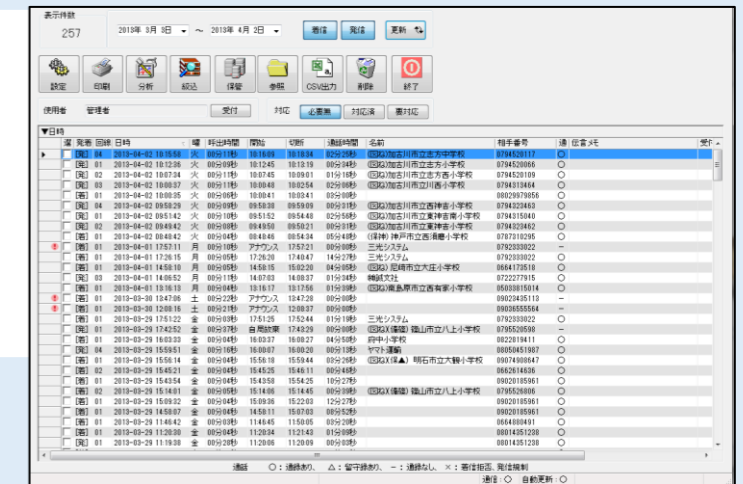
自動音声応答搭載の
フルスペックバージョン

対応接続回線：アナログ（最大60回線）／INS64（最大30回線）／INS1500（最大2回線）

INS64、アナログ回線はもちろん、INS1500回線にもCTIを導入いただけます。またアナログ・デジタル交換機にも対応。自動通話録音機能で自動的に通話を録音し、サーバー内に保存。ログからかんたんに検索して再生できます。規模の大きなオフィスから、総合病院やホテルなどの受付・予約業務、コールセンター、製品サポート業務などにも活用いただけます。

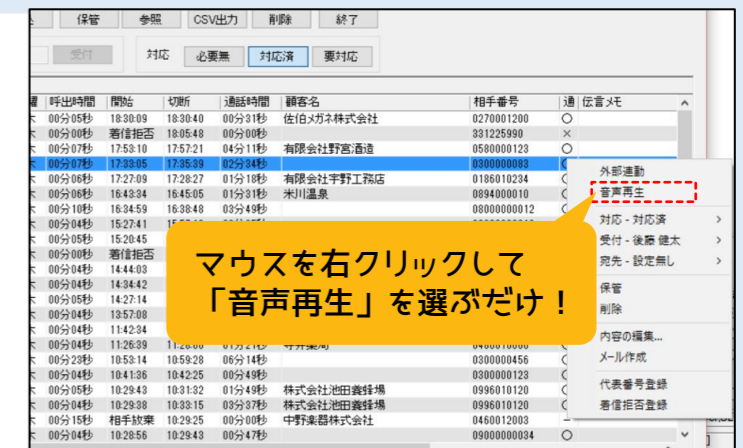
発信・着信履歴（ログ）閲覧

- 発信・着信履歴の表示ができます
- 呼出時間・通話時間の管理ができます
- 通話録音音声の再生ができます



自動通話録音機能

録音された音声はCTIサーバーに保存され、ログ閲覧画面から簡単に再生することができます。また、通話モニタリング機能を利用すると、他者の通話内容を聴くことができます。



マウスを右クリックして
「音声再生」を選ぶだけ！



対応接続回線：アナログ（1～4回線）※1 / 光（1回線 [4CH]）※2
 ※1 回線数分の専用アダプタが必要です ※2 最大4CH（同時接続）に対応します

簡太郎Liteをベースにアナログ4回線または4CHに対応したCTIシステムです。基本機能はそのままに、これまでLiteバージョンでは対応できなかった複数のパソコンへの導入など、Liteバージョンで物足りないといったお客さまの声にお応えしました。



対応接続回線：アナログ（1回線） / INS64（1回線） / 光（1回線）

PBX・交換機などを使用していないオフィスや小売店、店舗などを対象とし、アナログ・ISDN・光の各1回線に対応します。

簡太郎LitePLUS+ 簡太郎Lite 共通機能

着信情報表示

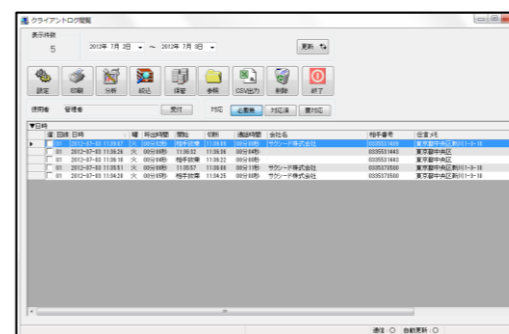
設定	開始	中止	全	指定	最新	自動	ログ	登録	閉じる
01	01:14	0787435067	神戸産業株式会社	兵庫県神戸市中央区御幸通	0000016				
02	00:36	0789764321	第一電子株式会社	兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬	0000015				

▲ クライアントモニター（簡太郎LitePLUS）



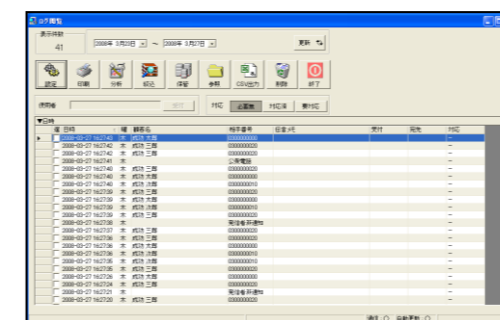
◀ 着信ブラウザ（簡太郎Lite）

着信履歴（ログ）閲覧



簡太郎LitePLUS

- 着信履歴の表示ができます
- 呼出時間・通話時間の管理ができます



簡太郎Lite

- 着信履歴の表示ができます

同時5CH以上の接続が必要な場合、通話録音等の機能が必要な場合は「簡太郎3」「簡太郎forIP」での対応となります。



ログ管理機能（ログ分析）

全ての簡太郎シリーズでご利用いただける機能です。ただし、分析できない項目もございますので、お客様が管理したい項目が対応しているかご確認ください。

項目	3	forIP	Lite+	Lite	分析内容
月別	○	○	○	○	年月ごとの着(発)信数、通話時間、放棄数を分析
日付別	○	○	○	○	日付ごとの着(発)信数、通話時間、放棄数を分析
曜日別	○	○	○	○	曜日ごとの着(発)信数、通話時間、放棄数を分析
時間帯別	○	○	○	○	時間帯ごとの着(発)信数、通話時間、放棄数を分析
相手名称別	○	○	○	○	相手名称ごとの着(発)信数、通話時間、放棄数を分析
部署名別	○	○	○	—	部署ごとの着(発)信数、通話時間、放棄数を分析
受付別	○	○	○	○	受付者ごとの着(発)信数、通話時間、放棄数を分析
応対別	○	○	○	—	応対者ごとの着(発)信数、通話時間、放棄数を分析
宛先別	○	○	○	○	宛先ごとの着(発)信数、通話時間、放棄数を分析
呼出時間別	○	○	○	—	呼出時間から着(発)信数、放棄数を分析
通話時間別	○	○	○	—	通話時間から着(発)信数、平均通話時間を分析

※発信数の集計は「簡太郎3」「簡太郎forIP」のみです。「簡太郎Lite」はそれぞれの項目の件数のみの集計です。

連動データベース設定

全ての簡太郎シリーズは、参照データベース（RDBMS）を問いません。接続するデータベースのODBCドライバー（32bit）を使用して、対象の顧客データベースと連携できます。

任意のフィールドで指定した項目が、プログラム連動時の引数（%FLD01%～%FLD10%）になります。

プログラム連動については次頁で説明しております

アプリケーション連動機能

全ての簡太郎シリーズは、既存業務アプリケーションと容易に連携できます。4種類の連動方式を提供しています。

連動方式① プログラム連動

CTI連動（クライアントモニター画面からアプリケーション連動ボタンをクリック）時に「起動するプログラム名」と、そのプログラムに連動したいCTI情報を「コマンドライン引数」として引き渡す指定ができます。

このインターフェースを使用する連動アプリケーションでは、起動時に引き渡された引数を受け取り、その引数の内容に応じた顧客情報を画面に表示するようなプログラミングが必要です。

※このインターフェースを使用することにより、比較的簡単に連動アプリケーションが構築できますが、実際のオペレーションではボタンクリックの都度、外部アプリケーションが起動されますので、オペレータは常に「多重起動」を注意する必要があります。

連動方式② インターフェースファイル連動

CTI連動時に、テキストファイルに連動したいCTI情報を出力します。（連動時に「指定された場所」の「指定されたファイル名」で常に新規作成されます）

このインターフェースを使用する連動アプリケーションは、タイマー等のイベント関数を用いて（1秒間隔を推奨）インターフェースファイルの更新をチェック（使用後、毎回削除する場合は、存在チェックで可）し、そのファイル内容に応じた顧客情報を画面表示するようなプログラミングが必要です。

※このインターフェースを使用することにより、常駐しているアプリケーションに対してCTIを連動するプログラムが構築できます。

アプリケーション連動機能

連動方式③ イン트라ネット連動

簡太郎 3 クライアント環境設定

動作環境設定1 動作環境設定2 表示回線/部署設定 アプリケーション連動設定

プログラム連動

インタフェースファイル連動

イン트라ネット連動

常に新しいウィンドウで表示 URLエンコードを行う shift_jis

DB登録時の連動URL
http://search.yahoo.co.jp/search?p=%NAME% 挿入

DB未登録時の連動URL(省略時、上記URLに連動)
http://search.local.yahoo.co.jp/search?p=%TEL% 挿入

クリップボード連動

受付履歴を表示する

Version ユーザー管理 初期化 OK キャンセル 適用

CTI連動時に、指定されたURL（固定）に連動したいCTI情報（可変）を埋め込み、ブラウザに引き渡します。

※このインターフェースを使用することにより、Webアプリケーションに対してCTI連動が可能となります。

連動方式④ クリップボード連動

簡太郎 3 クライアント環境設定

動作環境設定1 動作環境設定2 表示回線/部署設定 アプリケーション連動設定

プログラム連動

インタフェースファイル連動

イン트라ネット連動

クリップボード連動

DB登録時
%TEL% 挿入

DB未登録時(省略時、上記に連動)
 挿入

受付履歴を表示する

Version ユーザー管理 初期化 OK キャンセル 適用

CTI連動時に、連動したいCTI情報をクリップボードへコピーします。
CTI情報を必要としているアプリケーションの必要フィールドに手で貼り付けます。

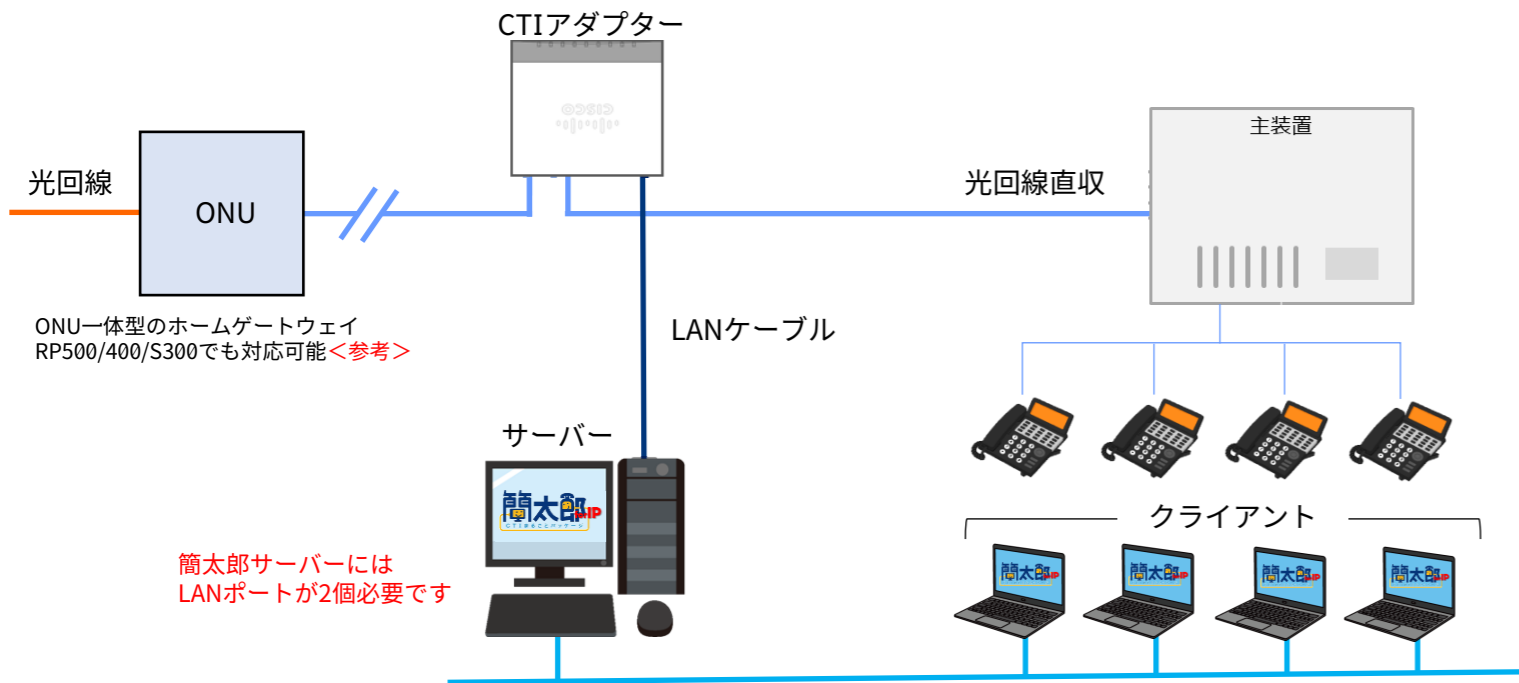
※このインターフェースを使用することにより、カスタマイズが困難な業務パッケージ等のアプリケーションに対してCTI情報を連携することができます。

アプリケーション連動機能（各連動方法で引き渡し可能なCTI情報）

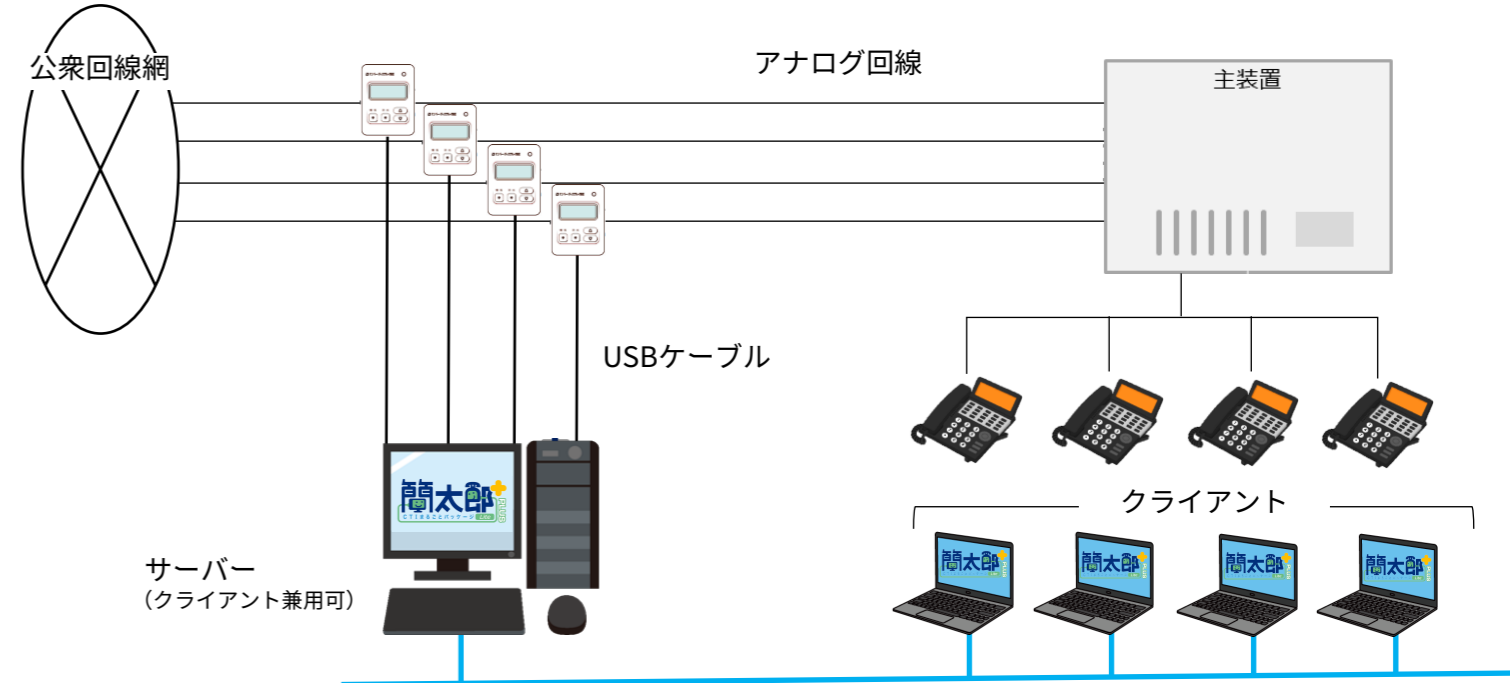
ヘッダ	タグ書式	内容
SNO	%TEL%	相手番号（代表番号登録している場合、代表番号）
RSN	%TEL%	非通知理由（P=発信者非通知、C=公衆電話、0=提供地域外、S=サービス統合）
CLD	%CLD%	相手番号（代表番号登録している場合、子番号）
RNO	%RNO%	ダイヤルイン番号
RLN	%RLN%	部署名 または ダイヤルイン番号
DCD	%DCD%	電話帳使用有無 DCDデータが空きの場合、DB登録データまたは電話帳未収録データ 0=電話帳/個人情報、1=電話帳/会社情報、2=未収録/住所情報取得
NMD	%NMD%	ネームディスプレイ
NAM	%NAME%	相手名称/電話帳使用時 相手名称
DT0	%FLD01%	候補項目1 / 電話帳使用時 相手郵便番号
DT1	%FLD02%	候補項目2 / 電話帳使用時 相手住所
DT2	%FLD03%	候補項目3
DT3	%FLD04%	候補項目4
DT4	%FLD05%	候補項目5
DT5	%FLD06%	候補項目6
DT6	%FLD07%	候補項目7
DT7	%FLD08%	候補項目8
DT8	%FLD09%	候補項目9
DT9	%FLD10%	候補項目10
CDT	%CDT%	着信日（YYYYMMDD）
CTM	%CTM%	着信時刻（HHMMSS）
LNO	%LNO%	実回線番号
DNO	%LINE%	表示回線番号
UID	%UID%	ユーザーID
USR	%USR%	ユーザー表示名
UT0	%UT0%	ユーザー任意項目1
UT1	%UT1%	ユーザー任意項目2
UML	%UML%	ユーザーメールアドレス
CNT	%CNT%	検索結果件数
CID	%CID%	発着信区分（I=着信）
COP	%COP%	連動元アプリケーション
COT	%COT%	連動理由

シリーズ別 システム構成図

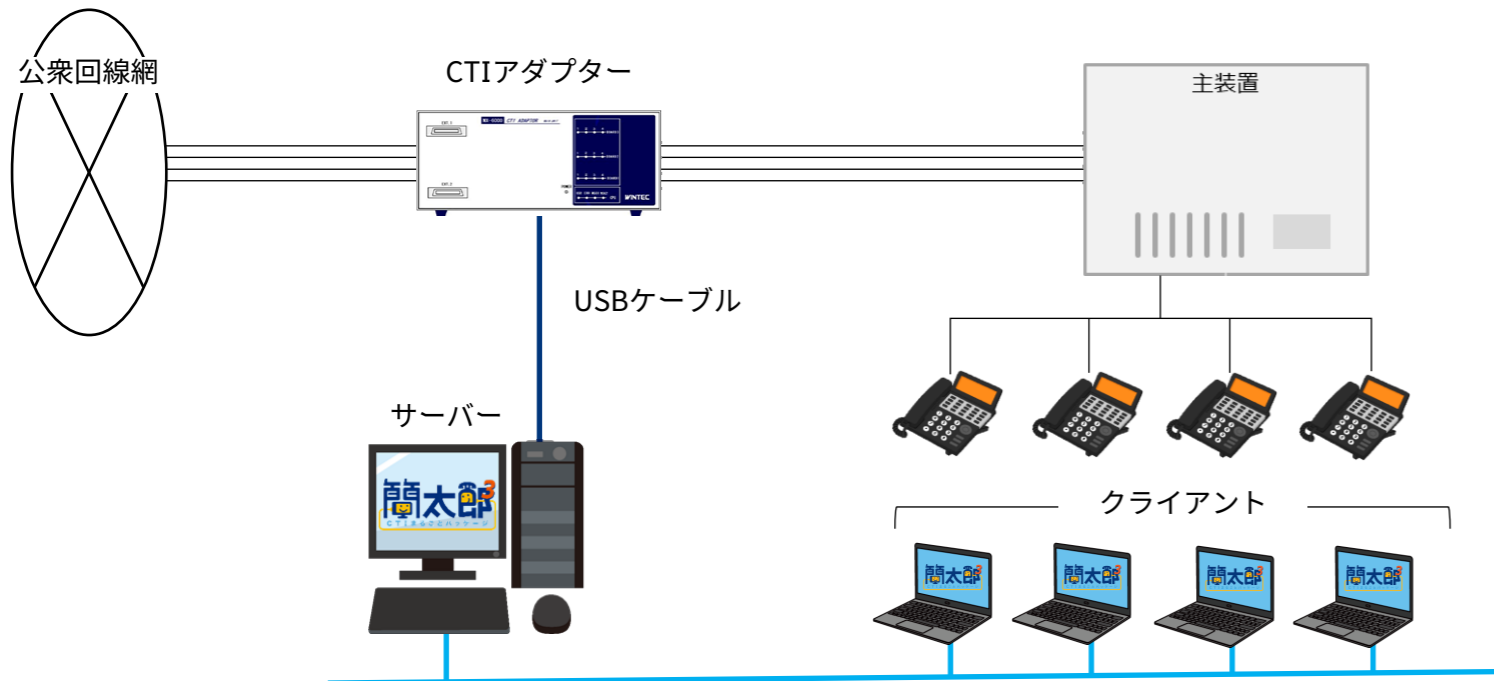
簡太郎 forIP・簡太郎 LitePLUS+ (光回線)



簡太郎 LitePLUS+ (アナログ回線)



簡太郎 3



簡太郎 Lite (光回線)

